

平成26年9月11日

新世代のための月間について

今週は、全米オープンテニスで日本中が沸きました。錦織選手とクロアチアのチリッチ選手の決勝戦。過去の対戦成績では5勝2敗と錦織選手がリードしていましたが、残念ながら決勝戦では負けてしまいました。しかし、日本人もここまでやれるんだという勇気と自信と夢を子供たちに与えてくれたと思います。

9月は「新世代のための月間」になっていますので、この話をしたいと思います。

年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。

この「新世代」ですが、前年度の規定審議会で「新世代奉仕」が「青少年奉仕」に名称が変更になっていることは、皆様ご存じだと思います。

ところが、月間はまだ「新世代のための月間」のままになっています。この矛盾が発生している理由は、規定審議会で変更になった部分は、奉仕部門の名称のみであって、それ以外の「新世代」を含む名称には変更がないからということらしいです。

将来的には他の部分も順次変更になる可能性があります、現時点では「新世代のための月間」のままになるようです。

ついでながら、R Iでは2010年の規定審議会において「新世代奉仕」をロータリーの第5奉仕部門とし、さらに2013年に先程申し上げたとおり、その呼び方をそれまでの「新世代奉仕」から「青少年奉仕」に変え、現在に至っています。

「新世代奉仕」が「青少年奉仕」に変更された経緯及びその理由は、欧米では新世代と言いますと、「生まれたての新生児から学童」までも含んだ意味であるそうです。ところが、実際にはR Iのプログラムでは概ね12～13歳以上の青少年部門の活動に限られているので、その範囲内でしか活動していないR Iの青少年プログラムに「新世代奉仕」などという名称を冠するのは横柄であろうという欧米からの反発を受けてR I規定審議会2013年に「新世代奉仕」を「青少年奉仕」に戻すという案が採択されたのです。

R Iの常設の青少年プログラムには現在次のようなものがあります。

- ・インターアクト・クラブ 12才～18才 世界に14,000以上のクラブがあり、会員32万人以上
- ・ローターアクト・クラブ 18才～30才 7,000以上のクラブ
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム（ライラ）
12才～30才 ロータリーが実施する若者たちのための研修

プログラム

- ・ 青少年交換 長期・短期を含めて年間8, 000人以上の交換

これらプログラムの活動目的は、多数の青少年が、地域のプロジェクトや指導力開発の研修、文化交流などに参加することによって、将来リーダーになるために必要なスキルを身につけ、自分自身と世界について発見することです。

ロータリークラブは、地域社会の若者に対し、継続的に強い関心・深い理解・寛容の精神を持って接し、高度の奉仕プログラムを用意・実行しながら、世界平和を願い、次世代の育成に努めるよう求められています。

そのため、各ロータリークラブは、月間中「ロータリアンは青少年の模範」と言う標語を会員に知らしめ、また地域へ広報するよう奨励されています。

健全な青少年の育成と関心は、これからのロータリーにとって最大の課題とされます。

それでは今日もロータリーを楽しみましょう！